



令和 6 年 11 月 12 日 (火) 例会 (第2925回) 報告 (晴) No.2753

出席率 …… 25/37 67.57% 第2923回補正出席率 …… 32/37 86.49%

欠席者 喜多村、佐藤、島谷、清水、庄司、平岡、福嶋、堀田、松井、村山、鷺澤、渡邊(冬)

メイクアップ (調印式) 9名 (東京調布RC例会) 8名 (臨時理事会) 10名

出席免除 足立、木村、藤瀬、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 酒井博淳 会長

11月10日(日)に、台風で延期されていた友好関係を締結するための東京調布ロータリークラブとの調印式がありました。昨年の赫会長年度に、会長と三輪未来委員長が手掛けた事案で大変苦勞されたこともあり、本年度ようやく締結に至ったことを本当に喜ばしいことと思っています。水木しげるロードの関係で以前から行政の繋がりが交流もあり、子供たちの交流に関して、ロータリーが率先して何かお手伝いができるのではないかと期待も膨らんでいます。これからがとても楽しみです。



◆幹事報告 友森昌幸 幹事

◎東京調布RCとの「友好クラブ締結調印式」無事終了 ◎榊原G事務所より「R財団月間案内」「DWCSズーム研修案内」◎11月レート1\$=153円 ◎例会後「臨時理事会」◎次週は休会

◆理事会報告 友森昌幸 幹事

【議題】①10月夜間例会決算報告[審議]→承認 ②忘年家族会 事業(案)[審議]→承認 ③Gノミニー推薦[審議]→当RCは推薦なし ④能登半島豪雨災害支援金[審議]→承認 ⑤パスト会長会について→司会：今年度会長、書記：副会長。【その他】大平雄吾様の入会時期について[報告]→10/22インフォメーション終了。当分繁忙の為ご本人からの申し入れにより3月から入会。

11月誕生日祝い

29日 村山尚史 会員

◆委員会報告

◎親睦委員会…小藤善之 副委員長

12/17開催「忘年家族会」の案内書配布。例年、往復葉書の案内でしたが今年から例会配布に変更。多数ご参加ください。

◎R財団委員会…松本 正 委員長

忘年家族会で「チャリティーオークション」実施。収益をポリオ根絶に寄付します。無償提供商品のご協力をお願いします。

◎社会奉仕委員会…上田康文 委員長

11/17(日)第29回アダプト草刈り清掃を予定。雨模様なので、15日に中止かどうか判断をして参加者各位へお知らせします。

— スマイルBOX —

◎誕生祝 中村 ◎宮崎様をお迎えして。卓話、楽しみにしております。酒井(博)、川田、定秀、谷田、赫、中田、北國、山崎 【東京調布RCとの友好クラブ締結】◎調印式が無事に終わりました。酒井(博)、岡空、三輪、黒田、山崎 ◎強者がおられました 三輪 ◎スケール大!東京競馬場にも… 黒田 ◎忘年家族会チャリティーオークション、協力お願いします。松本(正) ◎スマイルに協力 吾郷、松本(勝) 今年度計 256,000円(42.7%/目標60万円)

◎「ロータリーの友11月号」紹介…中村栄治 雑誌・広報委員 ◆12月行事予定 (疾病予防と治療月間)

12/3(火) 例会/理事会

10(火) 例会/年次総会

17(火) 忘年家族会 (18:30~ ANAクラウン米子)

— プログラム — 「決断の美学、そして気付いたこと!」

(株)Sea-Noise 代表取締役 宮崎哲人氏

35年間消防署に勤務し、昨年3月に早期退職。5月に起業、8月に法人化し、現在2期目です。早速ですが、皆さんは創業時の夢を語れますか? 社長の野心を社員に説明できますか? ワクワクする会社を創っていますか? また、社員の離職はなぜ起きるのか? 自走する社員はどうすれば作れるのか? そして、あなたは明日も生きると思っていますか?



弊社は、私の経験で得た日常の危機から災害の危機まで経営に直結した人材育成を実践的にサポートいたします。

私は他の署員より災害に遭いやすい人間で、島根町であった70年ぶりの大規模火災の陣頭指揮や、阪神・淡路大震災、東日本大震災の救助活動。今年の能登半島大震災でも、高所作業や重量物除去のテクニカル・ボランティアをしました。能登は美保関と同様の地形で、陸の孤島が懸念されます。もっと防災的な視点でも発信しなければ強く思いました。

無数の死に出遭ってきましたが、年を重ねるに従い、死を自分事のように感じるようになり、「自分は本当にこのままでいいのか」と考え、ちょうど2年前の今頃「よし、決断しよう!」と思い、家内の了解を得て退職届を出しました。定年を4年ほど残して。

消防士育成は半年間の研修で「何のために行うか」という問いかけを繰り返し伝え「自走する消防士」に育てます。これは企業でも同様、社長の理念を社員に熱量持ってどれだけ伝えているかが重要。今ある知識や技術を未来に伝えるためどうすれば若者が自走するのか。マニュアルにない行動はどうするか、と自問自答し、私も学びを続けています。平時の決断と違い、災害時の決断は7割方正解ならよしとします。先が読めない現代では、企業経営にも7~8割方正解なら決断して進め、躊躇なく後で修正するスタンスが大切ですので、この考えを浸透させるご支援をしております。

また、最近の若者は成長したい気持ちが強く、学びのない成長できない組織だと思えば辞める選択をします。企業では成長を実感できる仕組みづくり、学ぶ場づくりが必要です。

私は社会に育てて頂いた35年間を企業へ還元したく、経験と最新の学びから多種多様な経営者支援をご用意しております。都会のコンサルに劣らない内容でお伝えしますのでどうぞご相談ください。

今回(11月26日)プログラム

「新会員卓話」 清水俊和 会員

次回(12月3日)プログラム

「未定」 担当:出席委員会